

令和8（2026）年度 学校経営方針

江戸川区立下鎌田東小学校

校長 山本浩一

1 区立学校として期待される学校像

- 笑顔と活力にあふれ、児童一人一人が自分のよさを発揮できる学校
- 全ての教職員が協働し、質の高い教育活動の実現を目指す学校
- 保護者・地域の方々に信頼され、集いの中心となる学校

2 教育目標

◎考える子 ○思いやりのある子 ○たくましい子

※令和8年度の重点「考える子」

「考える子」・・・生涯にわたって学ぶ意欲をもち、生きる力の基となる考える力を育成する。

「思いやりのある子」・・・自分も相手も大切にし、豊かでしなやかな心を育成する。

「たくましい子」・・・健康な体をつくり、粘り強くやり抜く力を育成する。

→社会の変化に対応し、自らの力で未来を切り拓き、新しい価値を創造できる力の育成

3 令和8年度のスローガン

55 (GoGo) 東っ子！ ～ 55 周年おめでとう！ 行くぞ 東っ子！
Go for it! (やってみよう) Go together! (みんなで一緒に)

令和8年度、本校は開校55周年の記念の年を迎える。記念の年に、全児童・教職員で開校55周年をお祝いするとともに、本校の伝統ある校風をさらに発展させる。また、閉校（令和9年度）、新校開校（令和10年度）という新たなステージに向けた3年間の1年目として、子供たち一人一人が、主体的に物事に取り組んでいけるように様々な取組を推進していく。

55 (GoGo) 東っ子！ ～55周年をお祝いし、未来へ進む児童の姿

Go for it! (やってみよう) ～児童の主体的な取組を促す。

Go together! (みんなで一緒に) ～みんなで一緒にやり遂げた達成感を味わわせる。

4 教育目標達成に向けた具体的な取組

（取組1）確かな学力の育成

①「学力向上アクションプラン」を活用し、基礎学力の定着・向上を図るとともに、学力調査等での課題の分析を生かし、日々の指導の改善・充実に努める。

- ・学力向上委員会の活性化
- ・区学力向上プロジェクトチームの取組推進（区学力定着度調査・学習カルテの活用）
- ・放課後学習教室（EDOスク）の実施・有効活用（対象学年は、4、5、6学年）

- ・電子ドリルや「東京ベーシック・ドリル」、「よむYOMUワークシート」の活用推進
- ・「江戸川っ子 study week!」の実施 (6/8～6/14 11/24～11/30 2/8～2/14)
- ・「算数・国語授業スタンダード (江戸川区)」の活用
- ・ALT (外国語指導助手) と連携した外国語教育の充実

(ALT の派遣 1、2 学年 年間 10 時間、3～6 学年 年間 35 時間)

English Day の実施 1/30(土)

- ②算数科の校内研究に取り組み、基礎基本を確実に身に付け、数学的な見方、考え方を働かせ、主体的に問題解決に取り組む児童を育成する。
- ③「読み解く力」の向上を目指して取り組んだ国語科校内研究で得られた成果を活かす。
 - ・ラーニングマウンテンの活用 語彙を増やす取組 (言葉の宝箱、辞書引き等)
- ④一人 1 台端末 (iPad) を活用した個別最適な学びの実現を図る。
- ⑤読書科を推進し、区立図書館との連携を強化する。
 - ・「江戸川っ子 読書科コンクール」への参加 (小学生の部 5 学年・6 学年 1 点)
- ⑥学びの質を高めるために、教師の専門性を生かした教科担任制を実施する。
 - ・中高学年を中心に学年の実態に応じて理科、社会、体育等で教科担任制を計画的に実施

(取組 2) 自分も友達も大切に教育の推進

- ①江戸川区子どもの権利条例の理解を進める。
- ②教育活動全体を通して人権教育、道徳教育を進める。
 - ・人権課題や SDG s の推進への取組
 - ・道徳授業地区公開講座の実施 9/12 (土)
- ③いじめ・不登校、問題行動の未然防止、適切・迅速な組織的対応を図る。
 - ・いじめ・不登校対策委員会の開催
 - ・生活指導夕会での情報交換
 - ・「わたしの学校生活を振り返るアンケート」や面談の実施
 - ・スクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカー、外部機関との連携
 - ・やむを得ず登校できない児童の多様な居場所づくりを進める
 - ・L-Gate (毎日の記録～一人 1 台端末を用いた、心の健康観察) の実施
 - ・SNS 東京ルール、「東っ子タブルール」を活用した情報モラル指導
- ④異学年交流を推進する。
 - ・「なかよし班活動」の実施
- ⑤キャリア教育を推進する。
 - ・キャリアパスポートの実施
 - ・幼保小中連携教育の推進

(取組3) 体力向上、健康・安全教育の推進

- ①基本的な生活習慣を育てる。
 - ・年間2回のあいさつ週間や日常的な給食後の歯みがき、フッ化物洗口の取組
- ②体力の向上に向けた取組の充実を図る。
 - ・体力向上委員会の活性化
 - ・体力テストの結果・考察をもとにした体育学習の工夫・改善
 - ・「江戸川っ子なわ跳びチャレンジウイーク」「なかよし班遊び」の設定
- ③健康の保持・増進に向けた取組の充実を図る。
 - ・「食に関する指導の全体計画」に基づいた授業等の実施
 - ・食育の推進
- ④安全教育・防災教育の徹底を図る。
 - ・毎月の避難訓練の充実
 - ・セーフティ教室、交通安全教室、自転車教室、不審者対応避難訓練、引き渡し訓練、集団下校訓練の実施
- ⑤事故防止を徹底する。

(取組4) 共生社会の実現に向けた教育の推進

- ①特別な配慮を必要とする児童への支援体制の充実を図る。
 - ・特別支援教育コーディネーターを中心とした特別支援委員会の活性化
 - ・エンカレッジルームの活用促進
 - ・巡回指導教員や特別支援教室専門員、スクールカウンセラー、巡回心理士、介助員、保護者との連携強化
- ②UD（ユニバーサルデザイン）の視点から教室環境、教材・教具等を整備する。
- ③学校2020レガシーを推進する。
 - ・障害者理解を深める取組～パラスポーツ体験 オリンピック・パラリンピックアスリートとの直接交流 等
- ④LGBTQについての理解を促進する。

(取組5) 教職員の資質・能力の向上、校務改善に向けた取組の推進

- ①学校運営、教育活動の改善・充実に努める。
- ②教職員としての専門性の向上に努める。
 - ・自己研鑽に励む
- ③OJT、校内研究を推進する。
 - ・中堅教員が若手教員を育成する体制の構築

- ・校内研究への積極的な取組
- ④業務の効率化、「働き方改革」を推進する。
 - ・副校長補佐、スクールサポートスタッフ、学年アシスタントの活用
 - ・校務のデジタル化推進による情報共有・業務の効率化
 - ・月2回の職員定時退勤日の設定（学校全体1日 学年ごと1日）
 - ・最終退勤時刻20時
 - ・学校便りと学年便りは、合本

（取組6）家庭・地域との連携・協働の推進

- ①家庭や地域の方々との連携を推進する。
- ②学校の情報を積極的に発信し、教育活動への理解を深めていただくよう努める。
 - ・学校ホームページや各種たよりの充実
 - ・学校公開の実施（年間3回 6/19～20 9/12 1/30）
- ③小中連携教育を推進する。
 - ・小中連携教育の日 11/25 下鎌田東小において授業公開・協議会を実施予定
 - ・中学校部活動体験（6年）
- ④保護者や地域の方々の声を受け止め、教育活動の改善・充実を進める。
 - ・学校関係者評価の充実
 - ・WEBを活用したアンケートの実施

（取組7）その他

- ①開校55周年記念行事を実施する。
 - ・航空写真の撮影
 - ・開校55周年記念児童集会の実施
 - ・開校55周年記念運動会・学習発表会の実施
 - ・開校55周年を祝う環境整備
- ②令和9年度末の閉校及び令和10年度の新校開校に向けた取組を進める。
 - ・江戸川小学校、PTA、地域、教育委員会との協議
 - ・閉校記念行事の計画